

# 校長室より

令和 3年7月19日  
校長 植野 博之



1学期も終わりに近づき、いよいよ夏休みが間近になってきました。  
昨年度は、コロナにより4月、5月と臨時休校になった関係もあり、夏季休業を短縮しましたが、今年度は7月21日～8月31日まで夏休みとなります。  
各学部の登校日は、何回かありますが、ゆっくり心身共に休め、でも規則正しい生活は保ちながら、思い出に残る夏休みにしたいですね！

## PTA研修会兼保護者学級

7月4日(日)、PTA研修会兼保護者学級を実施しました。  
ICT活用の中で「自立と社会参加へ向けたテクノロジーの可能性」という題でNPO法人支援促進普及協会の高松崇氏よりご講演していただきました。  
自立とは子供にとっての支援先を増やすこと、保護者や教員の引き出しを増やすことが子供の選択肢を増やし、自立の援助になることを学びました。  
高松先生の豊富な経験と実践の内容に、保護者も教職員も大変引き込まれ、子供にとって有効な支援を増やしていきたいと感化される講演でした。



## 一学部（和歌山病院入院生） リモートでの授業参観

7月4日(日)、日曜参観が行われました。和歌山病院入院生は、保護者が病院内に入れなため、家庭からまたは本校舎からのリモートによるオンライン授業参観となりました。直接に間近で生徒と触れあうことはできませんでしたが、保護者の声かけに反応していたり、嬉しそうな表情が見られる場面もありました。リアルタイムに子供たちの様子がわかり、保護者の方々も喜んでおられました。

またはまかせ教室では、トランポリンやエアトランポリンに取り組んでいます。沈む感覚や、弾む感覚に驚きながらも心地よい様子が感じられます。



## 二学部（通学生）選択芸術：美術 和歌山大学 寺川教授来校 窯業を教えてくださいました！

7月8日(木)二学部高等部の選択芸術の美術の時間に、和歌山大学の寺川教授をゲストティーチャーとしてお招きし、窯業の指導をしていただきました。

粘土に空気を入れないようにしっかりこねたり、ろくろを使ってコップ作りに挑戦しました。はじめてろくろを使う生徒も多く、ソフトタッチで繊細な難しさはありましたが、とても貴重で良い経験になりました。今までなかったものが、作品になる、形になる楽しさを生徒達は感じていたようです。



## 全国高等学校総合文化祭出場！



7月31日(土)～8月2日(月)にかけて、和歌山市のビックホエールやビック愛等にて、全国高等学校総合文化祭紀の国わかやま総文2021が開かれます。

みはま支援学校は、特別支援学校部門において発表します。

ステージ発表部門では軽音楽を発表します。この日のために総合的な探求の時間において練習してきたチームが歌唱、エレキギター、ドラムなどで「虹」と「欲望に満ちた青年団」の2曲を発表します。

メッセージ甲子園では、日頃の「ありがとう」の気持ちをメッセージとビデオで伝えます。

また販売活動では、学校のものづくりの授業で制作した黒竹製品や工芸製品、木工製品等を販売します。今年はオフィスみはまという統括チームが製品の紹介回覧板やビデオなども制作し広報しています。また生徒自作の学校紹介ビデオを本番では流します。ビデオの撮影、編集まですべてが生徒で作上げた素敵な3分間動画です。生徒達の日頃の美術書道等の作品も展示されます。

生徒達は今、本番へ向けて頑張っています。

